國學院大學学術情報リポジトリ

現代中国語における字順の逆転する二字漢語「AB—BA」の語彙的性質：現代日本語に「AB」のみある例との比較

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2023-02-05
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 馬, 雲, Ma, Yun
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00000637

現代中国語における字順の逆転する二字漢語「AB-BA」の語彙的性質

—現代日本語に「AB」のみある例との比較—

馬　　雲

1．はじめに

現代中国語には、“歓喜-喜歓”・“講演-演講”・“回収-収回”・“期限-限期”のように、「AB-BA」と字順の逆転する二字漢語の組み合わせがあるが、現代日本語にはこの二組の字順の逆転する二字漢語の一方の組み合わせがなく、語彙としては「歓喜」・「講演」・「回収」・「期限」しかないという例がある。

本稿では、現代中国語において「AB-BA」のように字順の逆転する二字漢語の組み合わせがあり、現代日本語には「AB」しかないものを調査対象とし、その実数が辞書の見出し語としてどのくらいあるのかについて確認した上で、現代中国語の「AB」・「BA」間における意味上の相違について検討することを目的とする。

また、現代中国語で字順が逆転しても意味が近似している漢語について、意味上の相違や近似の観点から分析するとともに、現代中国語の「AB」と現代日本語の「AB」、および、現代中国語の「BA」と現代日本語の「AB」との間における意味上の相違についての検討を試みる。

2．字順の逆転する二字漢語の分類

字順の逆転する二字漢語の日本語・中国語間における対応関係について、馬（2014）では【表1】のように整理した。

【表１　現代日本語・中国語間での二字漢語の分類】

	日本語	中国語	語例	
			日本語	中国語
a	ＡＢ　ＢＡ	ＡＢ　ＢＡ	愛情　情愛	愛情　情愛
b	ＡＢ　ＢＡ	ＡＢ	階段　段階	階段
c	ＡＢ	ＡＢ　ＢＡ	相互	相互　互相
d	ＡＢ　ＢＡ		語類　類語	
e		ＡＢ　ＢＡ		愛心　心愛
f	ＡＢ	ＢＡ	胃腸	腸胃
g	ＡＢ	ＡＢ	英明	英明
h	ＡＢ		暗涙	
i		ＡＢ		時尚

【表１】中の語例は、後述する現代日本語・現代中国語の辞書の見出し語を基準としている。二字の漢字をそれぞれA、Bとすると、AB、BAは、字順の相反している二つの語形の組み合わせであることを表し、一方の二字漢語しかない場合は当該箇所を空白で示した。a～hの分類内容は以下のとおりである。

aは、中国語と日本語の両方に共通して「AB-BA」の逆転現象のあるもの。

bは、日本語「AB-BA」の逆転現象があるが中国語には一方しかないもの。

cは、中国語に「AB-BA」の逆転現象があるが日本語には一方しかないもの。

dは、日本語には「AB-BA」の両方があるが中国語にはどちらもないもの。

eは、中国語には「AB-BA」の両方があるが日本語にはどちらもないもの。

fは、日本語で「BA」のみがあり、中国語では「AB」のみあるもの。

gは、中国語と日本語の字順が同一であるもの。

hは、日本語のみにあるもの。

iは、中国語のみにあるもの。

gは、日本語と中国語とのいわゆる日中同形語である。

hは、日本語のみにあるもの、iは中国語のみにあるものであり、字順の逆転する二字漢語ではない。従って、字順の逆転する二字漢語の日中対照研究における検討の対象となるのは【表１】中に示すa～fの六種類である。本稿で、調査対象とするのは、【表１】中のcである。

３．調査方法

現代日本語と現代中国語にある字順の逆転する二字漢語を網羅的に集めるために、現代日本語の辞典として『岩波国語辞典　第七版』(1)（以下、『岩波』）と、

現代中国語の辞典として《現代漢語詞典　第６版》(2)（以下、《現代》）とを用い、見出し語から二字漢語を抽出した。辞書の選定理由としては、『岩波』は2011年に出版され、収録語彙は57000語余であり、本稿の調査時点で比較的新しい辞書である。加えて、収録語が現代生活に必要なものという観点から厳選され、時代と共に変遷した言葉の語義まで記載されているのが特徴である。

《現代》では中国語の品詞を、名詞・動詞・形容詞・数詞・量詞・代詞・副詞・介詞・連詞・助詞・嘆詞・擬声詞の12種類に分類し、さらに名詞を時間詞と方位詞、動詞を助動詞と趨向詞、形容詞を属性詞と状態詞、代名詞を人称代詞・指示代名詞・疑問代名詞に分類している。《現代》は1978年に初版が出版されてから中国国内の学校教育に大きく貢献してきた。中国語の辞書としては初めて品詞が表示され、現代中国語という観点から語彙を収録するところは本研究の研究目的と一致している。また、収録語彙は65000語程度であるところから、『岩波』と同規模の辞書として選定した。

字順の逆転する二字漢語を抽出する際、調査対象とする二字漢語の選定方法として、田島（1985）を参考にし、以下のような基準を設けた。

ア、同形であるが読み方が違い、そして二つの見出しを持ち、その使用に際して意味や位相等の相違が認められるものは、二つに区別する。

例：音声（おんせい）・音声（おんじょう）
　　礼拝（れいはい）・礼拝（らいはい）

イ、同形で読み方が違い、二つの見出しを持つが、一方が空見出しとなっているものは、本見出しのみを対象とする。

例：客観（かっかん/きゃっかん）→客観（きゃっかん）
　　情人（じょうじん/じょうにん→情人（じょうじん）
　　実名（じつめい/じつみょう）→実名（じつめい）
　　識見（しきけん/しっけん）→識見（しきけん）

ウ、同義で二つの書き方や書き換え語を持つものは一つに統一する。

例：峻嶮/峻険→峻険、衰退/衰頽→衰退、略奪/掠奪→掠奪

エ、明確に当て字とわかるものは除く。

例：数奇（すき）、達示（たっし）

オ、人名・地名・国名・書名・元号などの固有名詞を除外する。

例：日本（国名）、承応（年号）、端木（中国語の姓氏）

カ、略語を除外する。

例：魚雷（日本語の「魚形水雷」の略語）、量産（日本語の「大量生産」の略語）
　　健保（中国語の「健康保険」の略語）

また、日本語と中国語では、簡体字や常用漢字が用いられ、字体が異なるものが多く存在する。例えば、「論」に対して、日本語では「論」と書き、中国語で

は「**论**」と書くため、字体が異なるが、本研究ではこのような異体字も同一のものとして扱う。

４．調査目的

『岩波』と《現代》の中にあるすべての見出し語の中から現代中国語には「AB-BA」の逆転する二字漢語の組み合わせがあるが、日本語には「AB」しかないものを研究対象とし、中国語の「AB」と「BA」の意味関係上の相違によって分類し、考察を行う。また、中国語の「AB」と日本語の「AB」、中国語の「BA」と日本語「AB」との関連性について考察してみる。

５．意味関係の分類方法

日本語の二字漢語と中国語の語彙の意味関係の相違については、主観的な判断を避けるため、その分類に当たっては、辞書の記述を基準として判断を行った。日本語の場合は『日国』、『新選国語辞典』(3)、『類語大辞典』(4)、『大辞林』(5)、中国語の場合は『新華漢語詞典』(6)、日中それぞれの字順の逆転する二字漢語の意味の比較をする場合は『中日辞典』(7)・『日中辞典』(8)中にある語釈を比較しつつ、その意味について分析する。

意味分類としては、文化庁（1978）の分類方法を参考にしつつも、現代日本語の内部と現代中国語の内部における字順の逆転する二字漢語の意味上の相違について、以下のとおり、分類した。

（１）「S型」(9)は、「AB」と「BA」の意味が極めて近いものである（以下「同義」とする）。

例を挙げると、日本語の「激憤」は、『岩波』での記述によると「激しく憤ること。また、その憤り。憤激。」となっている。「憤激」は「激しく憤ること。怒りを爆発させること。激憤。」となっている。すなわち、日本語の「激憤」についての辞書の記述に「憤激」が示され、「憤激」の辞書の記述に「激憤」が示されるような字順の逆転する二字漢語の組み合わせをSに分類する。

中国語の「家伝」は、『中日辞典』によると「家に代々伝わる」と記述されている。「伝家」も「家に代々伝わる」という記述がある。中国語の「家伝」と「伝家」は辞書の記述内容がほぼ同じである。

このような組み合わせの例を「S型」に分類する。

（２）「O型」(10)は、「AB」と「BA」の意味が一部重なってはいるが、両者の間にずれのあるものである（以下、「部分重複」とする）。

例を挙げると、日本語の「発奮」の辞書の記述には、「これから大いに励もうと精神を奮い起こすこと。」とあり、「奮発」は「気力を奮い起こすこと。発奮。

思い切りよく、金銭を出すこと。」とある。日本語の「発奮」と「奮発」の両方とも「精神を奮い起こす」という意味があるが、「奮発」には「思い切って金銭を出す」という「発奮」にない意味の記述もある。

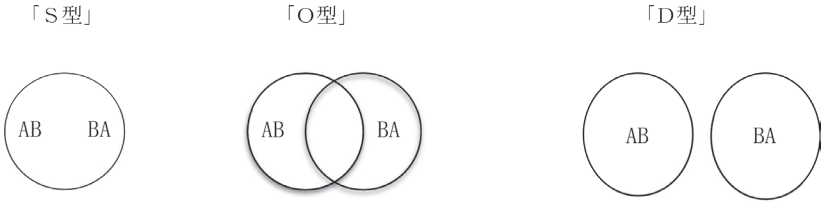
中国語の“継承”は「（遺産を）相続する。（前人の優れたものを）受け継ぐ。」と記述され、“承継”は「（息子がいないおじの）養子になる。（兄弟などの息子を）養子にする。相続する。」とある。中国語の“継承”と“承継”とは両方とも「相続する」という意味がある。しかし、“承継”には「養子になる。養子にする。」という意味があり、“継承”にはこの意味がない。このような組み合わせの例を「O型」に分類する。

また、「縁由」と「由縁」のように、両語とも「ゆかり、因縁由来」という意味があるが、「縁由」には「由縁」にない「法律行為や意思表示をする動機」という意味もある。このような一方が他方を包摂するものも「O型」に分類する。

（3）「D型」[11]は、「AB」と「BA」の意味が著しく異なるものである（以下、「異義」とする）。例を挙げると、日本語の「事故」は「普段とは違った、悪い出来事。」と辞書に記述されているが、「故事」の意味は辞書によると、「昔あった事柄。（ある物や言葉に関して）昔から伝わっている話やいわれ。」となっている。辞書の記述からみて明らかなように、日本語の「事故」と「故事」とは意味は異なることが分かる。

また、中国語の“会商”は「相談する。協議する。」という意味であり、“商会”は「商会。証人の組合組織。」という意味である。中国語の“会商”と“商会”とは意味が異なる語彙である。このような組み合わせの例を「D型」に分類する。

これらを図示すると、以下の【図１】になる。



【図１　字順の逆転する二字漢語の意味関係の分類】

６．使用状況の調査方法

現在の使用状況を調べるために、逆転しても意味が近似している語に関してはコーパスでの出現回数（以下、検索数）により調査した。日本語における字順の逆転する二字漢語の使用状況については、『書き言葉均衡コーパス　中納言』[12]（以下、BCCWJ）により、中国語における字順の逆転する二字漢語の使用状況

については、『北京大学CCL語料庫』[13]（以下、CCL）での検索数によった。

検索数の調査方法は以下のとおりである。例を挙げると、BCCWJの文字列検索で「序次」を調べる際、検索された用例は２例であるが、２例ともに「順序次第」を「序次」と認識したものであった。このような場合、検索数を０として数えた。BCCWJでの検索数が膨大である場合は、検索数のうち無作為に500件を抽出し、その500件以内で先に示した「順序次第」のような偶然一致する例がなければ、その検索数を使用した。500件以内で、偶然に一致する例があれば、全用例数を確認し、偶然一致した例を除外した。また、CCLで検索する場合は、例を挙げると、中国語の「主教」を調べた際、検索された16586例のうち、「天主教（カトリック）」か「主教練」のような偶然一致した用例が多く、確認したところ、「主教」として用いられていた用例は2092例のみであった。また、中国語の「栄光」を検索した場合、「張栄光」、「劉栄光」などのような人名に用いられた用例はすべて除外した。

７．調査結果

辞書の悉皆調査により抽出した字順の逆転する二字漢語の実数を【表２】に示した。【表２】に示すように、現代中国語での字順の逆転する二字漢語の組み合わせは375組が抽出され、「S型」に属する例が59組（16％）、「O型」に属する例が72組（19％）、「D型」に属する例が最も多く、244組（65％）であることが明らかになった。

【表２　cに属する現代中国語における字順の逆転する二字漢語間の意味関係】

	「S型」	「O型」	「D型」	合計
中国語	59組 （16％）	72組 （19％）	244組 （65％）	375組 （100％）

８．「S型」に属する語についての分析

「S型」に属する字順の逆転する二字漢語のCCLでの検索数について調べた結果を【表３】にまとめた。【表３】からわかるように、「S型」に属する字順の逆転する二字漢語は、「AB-BA」のうち一方のみが多用され、もう一方があまり使用されていないことが明らかになった。また、“攬総”の検索数は０例であり、“質対”と“綿連”の検索数はそれぞれ６例であった。CCLの収録語数が１億語であるのに対して、検索数が極めて少ないことから、今後中国語においては使用例が消滅していくものと考えられる。両語形とも多用されているのは“式様－様式”、“替代－代替”の２組であった。

【表３　現代中国語の「S型」の用例及び検索数】

用例	検索数	用例	検索数	用例	検索数
歔欷-欷歔	13-420	感傷-傷感	826-1602	縮減-減縮	1131-67
音読-読音	41-389	兵士-士兵	1200-22435	断腸-腸断	206-83
改竄-竄改	41-910	気力-力気	1455-6550	鑑賞-賞鑑	1795-90
面晤-晤面	45-122	総攬-攬総	588-0	質朴-朴質	1515-98
蒼穹-穹蒼	47-74	対質-質対	179-6	賞玩-玩賞	176-129
紹介-介紹	78-106528	連綿-綿連	1395-6	疫病-病疫	1135-135
受領-領受	86-496	随順-順随	42-10	伝承-承伝	1562-144
牧畜-畜牧	88-5757	凌駕-駕凌	586-12	愛撫-撫愛	539-150
撒播-播撒	104-389	蹌踉-踉蹌	636-13	延伸-伸延	7187-158
壮健-健壮	113-1149	要訣-訣要	205-14	夢幻-幻夢	1755-180
鋭敏-敏鋭	114-3307	伴侶-侶伴	1472-17	紳士-士紳	2046-187
登攀-攀登	128-3159	閉経-経閉	111-19	創始-始創	3368-201
併呑-呑併	166-572	容顔-顔容	568-21	態勢-勢態	6778-204
雲煙-煙雲	264-460	流伝-伝流	5941-24	源泉-泉源	2540-274
謹厳-厳謹	269-3153	蔵匿-匿蔵	1343-26	細心-心細	2934-357
率直-直率	272-889	煩労-労煩	48-33	救援-援救	8315-517
絶滅-滅絶	304-2786	塹壕-壕塹	107-42	山河-河山	1456-863
愛憐-憐愛	326-421	埋葬-葬埋	1620-45	様式-式様	1784-1514
毀損-損毀	366-702	放牧-牧放	1025-64	代替-替代	8481-7462
瑕疵-疵瑕	381-910	祝祷-祷祝	73-66		

品詞ごとに２例ずつ挙げて説明する。意味の記述と例文は『中日辞典』を参考にした。

中国語の“山河”と“河山”はともに名詞であり、「山と河、国土」という意味で使用されている。「素晴らしい山河」を中国語に訳す場合、“大好山河”と“大好河山”のどちらも言える。

中国語では、“兵士”と“士兵”の両方とも名詞であり、「軍隊で士官の指揮の下にある者。兵卒」という意味で使われ、相互に言い換えることができる。

中国語では、“健壮”と“壮健”はともに形容詞であり、「壮健である。」という意味である。“身体壮健”と“身体健壮”のいずれも「体が強健である」と日本語訳できる。

中国語では、“感傷”と“傷感”はともに形容詞として使われ、「感傷的な」という意味である。「人を感傷的にさせる」を中国語に訳すと、“令人傷感”または“令人

感傷”となる。

中国語の“代替”の解釈は、《現代》によると“以甲换乙、起乙的作用”（日本語訳：甲を乙と取り換え、乙の役割に代わる）と記述されており、「替代」と同じく「代わる、取って代わる」という意味になっており、両語とも動詞として使用されている。「彼の役割は誰にも取って代われない。」という日本語文を中国語に訳すと、“他的作用是没有人可以代替／替代的。”になる。

中国語の“縮減”と“減縮”はともに動詞として使われ、「縮減する。切り詰める」という意味である。「経費を縮減する」を中国語に訳すと、“縮減経費”または“減縮経費”になる。

上記の用例のように、「S型」に属する語は、品詞、および、意味と用法においては「AB-BA」ともほぼ同様であり、辞書での記述もほとんど同じである。相互に言い換えることができるが、使用頻度上に差があり、一方がよく使われ、もう一方はあまり使用されていないことが明らかになった。

9.「O型」に属する語についての分析

「O型」に属する字順の逆転する二字漢語の組み合わせは72組である。以下に示す。

引導-導引　運営-営運　応酬-酬応　音訳-訳音　回帰-帰回　外出-出外　諧調-調諧
解剖-剖解　歓喜-喜歓　寒心-心寒　丸薬-薬丸　緩和-和緩　帰依-依帰　期限-限期
気性-性気　平生-生平　兄弟-弟兄　協調-調協　緊要-要緊　計算-算計　経歴-歴経
言語-語言　健康-康健　検査-査検　講演-演講　護衛-衛護　才幹-幹才　歳暮-暮歳
使役-役使　耳順-順耳　潤滑-滑潤　除去-去除　装束-束装　女神-神女　心願-願心
真率-率真　侵入-入侵　訊問-問訊　誠実-実誠　尖頂-頂尖　先頭-頭先　相互-互相
相貌-貌相　蔬菜-菜蔬　素朴-朴素　損耗-耗損　対比-比対　男児-児男　遅延-延遅
蓄積-積蓄　長短-短長　到達-達到　動揺-揺動　熱鬧-鬧熱　倍加-加倍　比較-較比
評点-点評　富豪-豪富　負担-担負　浮沈-沈浮　扮装-装扮　方正-正方　保管-管保
網羅-羅網　養護-護養　要衝-衝要　累積-積累　霊魂-魂霊　連接-接連　和楽-楽和
童蒙-蒙童　忌諱-諱忌

以上の用例のうち、意味において混乱しやすいと思われる語を挙げ、詳しく分析してみる。

中国語では、“相互”と“互相”は副詞として使用する場合、意味と使用方法が同じであり、言い換えられるが、“相互”は副詞の他、形容詞としても使うことができ、名詞を修飾することができるが、“互相”は名詞を修飾することができない。従って、使用範囲が“互相”より“相互”のほうが広い。

中国語では、“期限”は名詞であり、「その時までに行うように、前もって決められた時期。」という意味で使用されている。“限期”は名詞として「期限」と同じ意味を持っているほか、動詞として「期限を決める」という意味もある。

中国語では、“計算”は動詞であり、主に「数や式を演算の法則に従って、結果を出したり、式の変形を実行すること。」と言う意味で使われているが、「あれこれ考えを巡らす」と意味もある。“算計”は「計算する」という“計算”と同じ意味をもつ他、「人を陥れようと企む。ひそかに謀る」という意味で主に使用されている。

中国語では、“歓喜”は形容詞として「嬉しい。楽しい」という意味であり、方言で動詞として「好む、愛好する」という意味もある。“喜歓”は動詞として「好む。愛する」という意味であり、方言で形容詞として“歓喜”と同じ意味も持っている。

中国語では、“負担”は動詞として使う場合、「仕事や義務、責任などを引き受ける」という意味であり、マイナスのイメージがあり、名詞として使う場合、「重荷」という意味になる。“担負”は名詞としては使うことができず、動詞として“負担”と同じ意味になるが、“担負”には日本語の「負担」にあるようなマイナスのイメージがない。

中国語では、“動揺”と“揺動”はともに「動揺している」という意味があるが、“動揺”は、「政権の動揺、立場の動揺、意志の動揺」など抽象的なことに用い、「揺動」は具体的なものに使う。また、「動揺」は形容詞としても動詞としても使えるが、“揺動”は動詞としてしか使えない。

中国語では、“霊魂”は「霊魂、たましい」、「高尚的霊魂（気高い心）」のように「精神」という意味、「出売霊魂（良心を売り渡す）」のように「人格、良心」という意味、「主題是一篇文章的霊魂」のように「核心、決定的な要素」の四種類の意味がある。“魂霊”は「霊魂、たましい」と「精神」の二種類の意味があり、“霊魂”より意味範囲が狭い。

中国語では、“応酬”は動詞として使う場合、「人と応対する。人付き合いをする。」という意味であり、名詞として使う場合は「接待や付き合いの宴席」という意味になる。“酬応”は動詞としてしか使えず、「交際する。付き合う」という意味である。

中国語では、“保管”には動詞として「保管する」と「保証する」の二つの意味があるが、“管保”は動詞として「保証する」という意味のみがある。

中国語では、“達到”は「抽象的な到達点（目的・レベル・程度・数量・結果・状態・要求など）に達する。」という意味で使われている。これに対して、“到達”は「具体的地点に到着する。目的語は場所を表す語に限られる。」という意味になる。また、可能補語の否定形である「到達できない」という意味を表す場合、“达不到”しか使えない。

中国語では、“健康”と“康健”のいずれも「体が健やかで悪いことのないこと、

元気であること」を表すが、“健康”は肉体のほか、精神的な状態がよいことにも使えるのに対して、“康健”は身体的な意味にしか使えない。“健康”は形容詞・名詞のどちらでも使えるが、“康健”は形容詞の用法しかない。また、“康健”は主に書き言葉で使用され、話し言葉では“健康”のほうがよく使用される。

中国語では、“朴素”は「身なりなどが質素である」と「生活が慎ましい。つましい」、「質実である。素朴である」、「未発達な。単純素朴な」という四種類の意味がある。“素朴”は「質素である」と「萌芽状態にある。未発展状態にある」と二つの意味があり、「生活が慎ましい」という意味がなく、意味範囲が“朴素”より狭い。

また、中国語の“語言”の字順逆転語の“言語”には中国語で二種類の読み方があり、“言語”の“語”を第三声で読む場合は、「言葉、言語」という意味であり、軽声で読む場合、方言として「言う。話す」という意味になる。

これと同じ例として、中国語の“兄弟”がある。“兄弟”の“弟”を第四声で読む場合、「兄と弟」と「両親または片親を同じくする間柄」という二種類の意味がある。軽声で読む場合、「弟」の意味のほかに「自分より年下の男子に対しる親しみを込めた呼称」、「謙譲語として男子が同輩または大勢の前で話をするときの自称、私」という三種類の意味がある。

10.「D型」に属する語についての分析

「D型」に属する字順の逆転する二字漢語の組み合わせは244組ある。以下に示す。

鞍馬-馬鞍　安保-保安　一如-如一　運河-河運　運転-転運　演義-義演　黄金-金黄
黄土-土黄　応答-答応　音響-響音　会意-意会　回収-収回　解題-題解　会堂-堂会
火焔-焔火　家居-居家　学名-名学　仮装-装仮　火星-星火　化石-石化　果糖-糖果
果肉-肉果　願意-意願　間隔-隔間　宦官-官宦　元日-日元　感動-動感　気圧-圧気
機関-関機　技巧-巧技　偽作-作偽　汽水-水汽　基地-地基　紀年-年紀　脚注-注脚
脚下-下脚　救急-急救　急湍-湍急　強圧-圧強　行商-商行　共通-通共　響導-導響
行道-道行　極地-地極　曲譜-譜曲　虚心-心虚　帰来-来帰　気流-流気　金子-子金
近隣-隣近　群集-集群　径行-行径　警告-告警　戯文-文戯　系譜-譜系　警報-報警
血気-気血　権威-威権　限界-界限　原本-本原　号外-外号　高層-層高　考査-査考
効能-能効　後嗣-嗣後　後身-身後　紅潮-潮紅　光年-年光　工兵-兵工　膏薬-薬膏
香油-油香　合理-理合　故国-国故　誤差-差誤　鼓手-手鼓　彩雲-雲彩　産地-地産
私営-営私　私家-家私　字画-画字　時機-機時　時限-限時　指示-示指　地質-質地
子孫-孫子　実証-証実　試筆-筆試　事物-物事　子房-房子　射影-影射　謝辞-辞謝
集会-会集　重言-言重　重心-心重　修整-整修　主事-事主　手写-写手　出発-発出
受難-難受　主力-力主　潤筆-筆潤　子葉-葉子　頌歌-歌頌　奨金-金奨　称号-号称

焦心-心焦　身上-上身　象徴-徴象　情調-調情　城府-府城　捷報-報捷　書家-家書
書評-評書　書法-法書　人為-為人　深淵-淵深　心機-機心　人工-工人　心酔-酔心
人生-生人　親族-族親　人頭-頭人　図画-画図　正教-教正　生産-産生　青天-天青
成年-年成　青年-年青　成分-分成　生来-来生　石英-英石　世故-故世　説話-話説
善行-行善　前日-日前　戦争-争戦　前提-提前　前頭-頭前　千万-万千　戦備-備戦
相識-識相　叢林-林叢　大半-半大　対面-面対　隊列-列隊　打開-開打　探測-測探
地下-下地　畜力-力畜　中期-期中　柱石-石柱　長官-官長　直径-径直　追尾-尾追
定額-額定　適合-合適　敵情-情敵　田園-園田　展開-開展　電機-機電　伝言-言伝
天成-成天　伝単-単伝　転調-調転　天皇-皇天　天明-明天　当家-家当　道家-家道
頭骨-骨頭　灯台-台灯　頭頂-頂頭　同等-等同　同伴-伴同　桐油-油桐　灯油-油灯
頭領-領頭　道路-路道　毒蛇-蛇毒　読破-破読　度量-量度　内在-在内　年頭-頭年
年末-末年　能動-動能　農薬-薬農　白眼-眼白　白銀-銀白　白話-話白　白露-露白
馬上-上馬　発生-生発　飯盒-盒飯　犯罪-罪犯　犯人-人犯　皮肉-肉皮　被覆-覆被
費用-用費　病害-害病　臂力-力臂　風采-采風　風流-流風　不可-可不　物証-証物
不要-要不　文具-具文　分身-身分　母乳-乳母　迷彩-彩迷　門閥-閥門　文盲-盲文
変形-形変　変質-質変　変量-量変　法師-師法　宝珠-珠宝　報酬-酬報　包皮-皮包
暴風-風暴　本文-文本　密告-告密　名品-品名　面相-相面　毛髪-髪毛　薬酒-酒薬
薬草-草薬　油脂-脂油　融通-通融　容易-易容　養家-家養　養生-生養　来日-日来
力量-量力　量器-器量　礼賛-賛礼　来歴-歴来　律詩-詩律　粒子-子粒　礼節-節礼
暦年-年暦　恋愛-愛恋　楼閣-閣楼　壟断-断壟　路上-上路　和議-議和

以上の244組の語は、字順だけでなく、字順が逆転することで、中国語として「AB-BA」間で意味が完全に異なる語である。以下にその主な例を示す。

“黄金”は、名詞として「黄金、金」、形容詞として「貴重な、大切な」という意味であるのに対し、“金黄”は「金色」という意味である。

“間隔”は「途絶える」という意味で動詞としても使えるが、主に名詞として「（時間や空間の）間隔、隔たり」という意味で使用されている。これに対し、“隔間”は「間仕切りで分けられた部屋」という意味である。

“虚心”と“心虚”とともに形容詞であるが、“虚心”は「虚心である、謙虚である」という意味であるのに対し、“心虚”は「びくびくしている、おずおずしている」と「自信がない、心細い」という二つの意味を持っている。

“奨金”は「ボーナス、賞金」という意味であるのに対し、“金奨”は「一等賞」という“賞金”と異なる意味になる。

“人工”は形容詞として「人工の、人為的な」、名詞として「人力、手間」という二種類の意味であるのに対し、“工人”は名詞として「労働者」という意味しかない。

“人生”は名詞であり、「人生、人として生きること」という意味である。これ

に対して、“生人”は動詞として「（人が）生まれる、出生する」、名詞として「知らない人、赤の他人」という意味である。

“門閥”は古い言葉であり、「門閥、（権勢をもつ）家柄」という意味で使用されるが、“閥門”は機械などの「バルブ」という意味である。

また、“白話”には二種類の読み方があり、“白話”の“話”を第四声で読む場合、文言に対して「口語、俗語」という意味と、「根拠のない話、実現できない話」という意味がある。“話”を軽声で読む場合、方言として「雑談をする。おしゃべりをする」と「大げさに言う」という二種類の意味がある。

11. 中国語の「AB」と日本語の「AB」についての分析

中国語の「AB」と日本語の「AB」を比較したところ、ほとんどの語の意味が同じであるが、次に挙げる用例のように、日中同形語として相互に意味が異なるものもある。

中国語の“願意”は動詞であり、「（それが望ましいと考えて）承知する、同意する」という意味であるが、日本語の「願意」は名詞であり、「願いの趣旨。願う心」という意味になる。

中国語の“来日”は名詞であり、「将来、未来」を表すが、日本語の「来日」は「外国人が日本に来ること」を指す。

中国語の“試筆”は動詞であり、「（文章や字を）試みに書く」という意味であるが、日本語の「試筆」は「新年に初めて毛筆で字を書くこと。書き始め」という意味になっている。

中国語の“保管”は「保管する」という意味の他、「保証する」という意味もある。日本語の「保管」は「保証する」という意味がない。

中国語の“不要”は副詞であり、「してはいけない。禁止」」という意味であるが、日本語の「不要」は「いらないこと。必要がないこと」という意味である。

中国語の“前日”は「おととい、一昨日」という意味であるが、日本語の「前日」は「その日の前の日」という意味になっている。

中国語の“比較”は動詞として「比べる」という意味のほか、副詞として「比較的に、わりあいに」という意味もある。日本語の「比較」には「わりあいに」という意味がない。

中国語の“皮肉”は名詞であり、「肉体、体」という意味であるのに対し、日本語の「皮肉」は「体」という意味のほか、形容動詞として「相手の欠点や弱点を意地悪く遠回しに非難すること。また、その言葉やさま。」という中国語にない意味もある。

中国語の“風采”は書き言葉で使用され、「（立派な）風貌」、「文才、文学的な才能」という意味であるのに対し、日本語の「風采」は「外部から見た人の容姿や身な

りなどの様子」という意味である。

中国語の“謝辞”は名詞として「感謝の言葉」という意味であり、日本語の「謝辞」は「感謝の言葉」という意味のほか、「謝罪の言葉」という中国語にない意味もある。

中国語の“気性”は「性分」と「怒りっぽいたち、癇癪持ち」との二種類の意味がある。日本語の「気性」は「生まれつき持っている性格」という意味のみがある。

中国語の“原本”は名詞として使用する場合、「書籍などの原本、底本」と「原書、原著」、「初版本」の三種類の意味のほか、副詞として「もともと、以前は」という意味もある。日本語の「原本」は「元の書物や書類」という意味もあるが、副詞として「もともと」という意味がない。

中国語の“風流”は形容詞であり、「傑出している」と「優雅である」「男女の情事にかかわる」の三種類の意味がある。日本語の「風流」は「風流な茶室」のように「落ち着いた優雅な趣のあること」という意味、「風流の道」のように「詩歌・書画・茶など、俗を離れた趣のあるもの」という意味、また「美しく飾ること」という意味で使用されている。

中国語の“網羅”は名詞として使用する場合、「魚や鳥を取る網。転じて、人を束縛するもの」という意味であり、動詞として使う場合、「（人材を）広く探し求める」という意味になる。日本語の「網羅」は「人を束縛するもの」の意味があるが、「広く探し求める」という意味がなく、中国語にない意味として「そのことに関するすべてを残らず集めること」という意味も持っている。

12. 中国語の「BA」と日本語の「AB」についての分析

これまで中国語と日本語の同形語で意味が一致する語彙に関する研究が多くなされてきたが、以下の用例のように日本語の「AB」と中国語の「AB」との意味が異なり、逆に中国語の「BA」と同じ意味として使われている語がある。

例を挙げると、中国語の“救急”は「急場を救う」という意味であるのに対し、“急救”は「救急手当をする」という意味である。日本語には「急救」という語がなく、「救急」のみ語彙として存在し、中国語の“救急”の字順逆転語の“急救”と同じ意味で使用されている。例えば、中国語では“急救箱”というが、日本語では「救急箱」という。

中国語の“演講”と“講演”はともに動詞として「演説する」、名詞として「演説する内容」という同じ意味を持っているが、日本語の「講演」は「聴衆の前で、ある題目のもとに話をすること。また、その話」という意味である。中国語では“学術演講”というが、日本語ではこれを「学術講演」という。

中国語の“語言”には「言語、言葉」と「話、話題」という二つの意味がある。“言

語”は二種類の読み方があり、「言語」の「語」を第三声で読む場合、「言葉、言語」という意味であり、軽声で読む場合、方言として「言う。話す」という意味になる。日本語の「言語」は「ことば」という意味であるので、「ことば」という意味で使用される場合、中国語では“語言”、日本語では「言語」を使う。

中国語の“紹介”と“介紹”の意味が同じであるが、【表３】に示すように、“紹介”の検索数は78であるのに対し、“介紹”の検索数は106528件に達していることから、現代中国語では“介紹”が圧倒的に多く使用されていることがわかる。現代日本語では「紹介」のみ使われている。従って、「知らない人どうしを引き合わせること」という意味を表す言葉として、現代中国語では“介紹”が使われているが、現代日本語では「紹介」が使用されている。

また日本語の「AB」に二種類の読み方がある語として「地下・本文・人頭・身上・地質・兄弟・黄土・疫病」の８語がある。

「地下」を「ちか」と読む場合、「地面の下。土の下。」と「政治運動・社会運動などの、密かに行われる活動の場。」という二種類の意味があり、「じげ」と読む場合、「清涼殿に昇殿することを許さない官人、またはその家格」という意味になる。

「本文」を「ほんぶん」と読む場合、「文書・書物の本体となる部分。」という意味であり、「ほんもん」と読む場合、「文書・書物の本体となる部分。」という意味のほか、注釈・講義などの対象である、もとの文。」という意味もある。

「人頭」には「じんとう」と「にんとう」の二種類の読み方があるが、意味が同じであり、「人の数、人数」を表す。

「身上」を「しんじょう」と読む場合、「身の上、一身に関する事柄。体、また命。取り柄。」の意味であり、「しんしょう」と読む場合、「身代。財産」という別の意味になる。

「地質」を「じしつ」と読む場合、「（織物の）生地の質。」という意味であり、「ちしつ」と読む場合、「地殻を構成する岩石や地層の種類・性質、またはそれらの状態」と意味になる。

「兄弟」を「きょうだい」と読む場合、「同じ親から生れた間柄のもの。また、結婚などの結果、同じ人を呼ぶ間柄になった（夫・妻以外の）者。また、獣などにも言う。血縁の兄弟ではないが、約束を結んで兄弟同様の親しい間柄となった者」などの意味があるが、「けいてい」と読む場合、「兄と弟」という意味のみになる。

「黄土」を「おうど」と読む場合、「黄色顔料。主成分は酸化鉄。リノリウム・コンクリートの着色用。オーカー」と「中国北部位一帯の、地表を覆う黄色の土」の二種類の意味があり、「こうど」と読む場合、「おうど」の意味のほか、「よみじ。黄泉」という意味もある。

「疫病」を「えきびょう」と読む場合、「はやりやまい。伝染病」を表すが、「や

くびょう」と読む場合、「伝染性の激しい熱病」という意味になる。

まとめ

本稿では、現代中国語において字順の逆転する二字漢語の組み合わせ「AB」・「BA」があり、現代日本語にはその一方しかないもの「AB」を調査対象とし、375組を抽出して、意味関係の相違によってそれらを分類した。

その結果、中国語に字順の逆転する二字漢語の組み合わせがある場合、字順が逆転することで、中国語では「AB」と「BA」間で意味の相違が生じる語が多く、全体の65％を占めることが明らかになった。

「S型」に属する語の検索数から見ると、「AB」がよく使われ、「BA」に相当する語はあまり使用されていないことが明らかになった。「S型」に属する中国語における字順の逆転する二字漢語は、意味が同じだけでなく、用法や品詞なども同じであり、相互に交替可能であることが明らかになった。

また、中国語の「AB」と日本語の「AB」とで意味を共有するものが多くあり、逆に中国語の「BA」と日本語の「AB」との意味が同じであるという例のあることが分かった。

【注記】

（1）西尾実・岩淵悦太郎・他編（2011）『岩波国語辞典第七版新版』岩波書店
（2）中国社会科学院語言研究所詞典編輯室編（2012）《現代漢語詞典》第６版、商務印書館
（3）金田一京助・佐伯梅友・他編（2012）『新選国語辞典』第九版、小学館
（4）柴田武・山田進編（2002）『類語大辞典』講談社
（5）松村明編（2006）『大辞林』第三版，三省堂
（6）『新華漢語詞典』編委会編（2013）『新華漢語詞典』（最新修訂版・彩色本）商務印書館
（7）相原茂編（2010）『講談社中日辞典』第三版、講談社
（8）相原茂編（2006）『講談社日中辞典』講談社
（9）“Same”の頭文字を用いた記号である。
（10）“Overlap”の頭文字を用いた記号である。
（11）“Different”の頭文字を用いた記号である。
（12）https://chunagon.ninjal.ac.jp　BCCWJは、現代日本語の書き言葉の全体像を把握するために構築されたコーパスであり、書籍全般・雑誌全般・新聞・白書・ネット掲示板・ブログ、教科書、法律などのジャンルにまたがって１億語以上のデータを格納されている。収録範囲が広く、全文検索できるシステムがあり、検索用例数が全て表示できる。
（13）http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp　CCLは現代中国語と古代中国語に分けて調べることができ、収録の範囲もできるだけ各領域やテーマを網羅し、中国語の代表的な言語資料だと言われる。現代中国語の収録する語数は約５億語である。

【参考文献】

黄美静（2010）「『西国立志編』における逆順語」『日本語形態の諸問題　鈴木泰教授東京大学退

職記念論文集』ひつじ書房、pp.97-111
佐藤亨（1976）「近世漢語についての一考察―『療治』『治療』をめぐって―」『国語学』106、pp.1-13
佐藤亨（1986）「『米欧回覧実記』の語彙」『幕末・明治初期語彙の研究』桜楓社、pp.437-471
鈴木丹士郎（1986）「二字漢語の字順についての問題」『国語論究Ⅰ　語彙の研究』明治書院、pp.278-298
曹先擢（1979）「並列式同素異序同義詞」『中国語文』中国語文社会科学出版社、pp.406-411
竹中憲一（1988）「中国語と日本語における字順の逆転現象」『日本語学』明治書院、pp.55-64
田島優（1985）「字順の相反する二字漢語」『名古屋大学人文科学研究』第14号、名古屋大学大学院文学研究科、pp.1-18
張瓊玲（1989）「日中漢語の対比研究―逆転語を中心に―」『奥村三雄教授退官記念国語学論叢』桜楓社、pp.785-799
鄭奠（1964）「古漢語中字字序対換的双音詞」『中国語文』第６期、中国語文社会科学出版社、pp.445-4
文化庁（1978）『日本語教育研究資料　中国語と対応する漢語』大蔵省印刷局
馬雲（2014）「日本語と中国語とで字順の逆転する二字漢語―日本語の漢語が中国語で逆転するものを中心に―」『日本語研究』第34号、首都大学東京・東京都立大学 日本語・日本語教育研究会、pp.71-84
馬雲（2017a）「現代日本語の二字漢語とその字順逆転について―現代中国語の二字漢語と比較して―」『台灣応用日語研究』第十九期、台湾應用日語学会、pp.51-70
馬雲（2017b）「現代日本語における字順逆転する二字漢語AB・BAについて―現代中国語に一方が欠落しているもの―」『言語の研究』第３号、首都大学東京言語研究会、pp.61-76

【付記】
本稿は江西省高校人文社会科学2019年度項目による研究課題「关于《**现**代**汉语词**典》中未收**录**的中日同素逆序**词**的**历时**研究」（課題番号YY19208、項目類別：青年項目）の研究成果の一部である。